

# 美空 ~MISORA~ 第194号

発行日:2025年10月2日  
発行者:NPO 法人 電線のない街づくり支援ネットワーク  
理事長 高田 昇

## 目次 INDEX

- ・活動報告
- 東京理事会・合同理事会・イベント紹介 …… 1
- ・2025 夏インターン生の企画紹介 …… 3
- ・北海道支部のポスター展示報告 …… 5
- ・第 11 回全国技術委員会 OSAKA 報告  
「台北市電線地中化状況」 …… 7

特定非営利活動法人  
電線のない街づくり支援ネットワーク  
THE NETWORK FOR NON POLE COMMUNITY

### 【活動報告】

2025年9月18日(木)17:00~17:30

東京理事会

WEB: Cisco Webex

参加者: 7名

#### 1. 伊津支部長より

- 10/16 開催、無電柱化街並み見学会について
- 10月・11月東京理事会の日時・開催方法について
- 11月11日の「無電柱化の日」セミナーについて
- 12月の東京活動委員会・忘年会について
- その他

#### 2. 10月の無電柱化街並み見学会について

・北村理事より当日の概要説明

#### ◆NPO・HP での見学会のご案内



**「無電柱化街並み見学会」のご案内**  
八王子市みなみ野シティ

**10/16(木) 10:00~12:00**  
集合: JR横浜線八王子みなみ野駅 改札前 10:00

「居場所」・「人」・「しかけ」で結ぶまちづくり

見学会は小雨決行  
《見学会案内》  
(株)プレシメイキング研究所代表取締役 温井 達也氏  
《集合場所》10:00 八王子みなみ野駅 改札前  
《見学場所》八王子みなみ野シティ  
116区画(計画130区画)  
八王子みなみ野駅から徒歩20分程度

《参加対象》会員及び、地方自治体ご担当者限定  
現地参加定員:30名程度  
《スケジュール》  
10:00 八王子みなみ野駅 改札前 集合 ~徒歩移動~  
10:20 現地着  
10:40 クラブハウスにて概要説明  
11:00~11:40 現地視察  
~12:00 八王子みなみ野駅 (ランチ会) ~  
\*現地での移動は徒歩となります。歩きやすい靴でご参加ください。

◆問い合わせ・参加申込先(上のQRコードからもOK)◆  
NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク  
TEL:06-6881-4000 FAX:06-6381-3999  
メール先:nponpc.t@gmail.com (事務局:塚田)

温井 達也氏 プロフィール  
(株)プレシメイキング研究所 代表取締役社長  
2004年 筑波大学芸術学博士課程環境デザインを修了(デザイン学博士)  
地域の課題解決や価値創造を目指すコミュニティビジネスに取り組んでいる。

駅周辺MAP

<https://nponpc.net/info/20251016tour-of-the-pole-free-streetscape/> (参加申込フォームあり)

- ・現地下見に行ってきた。八王子みなみ野シティ以外の住宅地でも電柱・電線が目立たないところが多かった。
- ・当日はWEB中継なし。
- ⇒撮影してよいかの許可がとれるか確認。

#### 3. 11月11日の「無電柱化の日」セミナーについて

・登壇者、当日スケジュールが固まる。

#### ◆NPO・HP でのセミナーのご案内



**11月10日(日) 無電柱化の日**

**「無電柱化の日」セミナー**  
「無電柱化の日」をきっかけに日本の無電柱化を考えよう!  
令和7年度第2回「無電柱化を推進する市区町村長の会総会強会」

**11/11(火) 15:00~17:10**  
日本みち研究所 分室

講演者プロフィール

岩田圭佑  
基本大学工学部自然科学研究科副学長兼講師。博士(工学)。三島ビルリサーチ&コンサルテンション(株)取締役。(在籍)土木研究所専任土木建築研究所研究員を経て2022年より現職。無電柱化の最新研究調査および技術開発に従事。現在「ケーブルフリー」で専攻研究員を務める。

大庭哲治  
京都大学大学院工学研究科博士課程修了。博士(工学)。三島ビルリサーチ&コンサルテンション(株)専任講師。京都大学大学院工学研究科助教。准教授。京都大学大学院研究開発専攻助教を経て2024年より現職。国土交通省無電柱化推進技術検討委員会委員を務める。

森山誠二  
京都大学工学部土木工学科助産。建設省入会(中部地方支部)。国土交通省総合政策局政策課長。内閣府政策推進事務局。国土交通省中部地方整備局企画課長。自治体建設局長。防災課長。2021年より現職。一般財団法人日本みち研究所専任理事を務める。

■当日のスケジュール

15:00 主催者挨拶 当NPO東京支部支部長 伊津元博  
15:05 「デンマークの無電柱化の歴史と都市空間の現在」  
国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 地域景観チーム主任研究員 岩田圭佑  
15:45 質疑応答  
15:55 「AIデータセンターが拓く都市変革と無電柱化の未来」  
京都大学大学院 経営管理研究部 教授・当NPO顧問 大庭哲治  
16:35 質疑応答  
16:45 「地方の無電柱化推進計画の取組 - 沼津市の例」  
一般財団法人日本みち研究所 専任理事・当NPO顧問 森山誠二  
17:05 NPOからお知らせ、閉会の挨拶  
当NPO理事・事務局局長 井上利一

WEB参加OK! お申込みいただいた方には、当会参加のためのURLを、事前にメールでご連絡します。(Cisco Webex 運営)

日本みち研究所 分室 (案内図)

◆主催(共催)◆  
NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク  
一般財団法人日本みち研究所  
無電柱化を推進する市区町村長の会  
◆後援(予定)◆  
国土交通省  
NPO法人「日本で最も美しい村」連合

<https://nponpc.net/info/20251111pole-free-day-seminar/> (参加申込フォームあり)

#### 4. 12月の東京活動委員会について

- ・次年度の無電柱化推進展の案内をJMA(一般社団法人日本能率協会)さんにしていただく予定。
- ・10月1日に実施する国交省の無電柱化推進のあり方検討委員会の概要説明を野原理事にお願いしたい。

2025年9月18日(木)17:30~18:00

## 合同理事会

WEB: Cisco Webex

参加者: 8名

### 1. 高田理事長より

最近猛暑に加えて、暴雨・豪風さらには突風・竜巻、台風15号と危険性が高まっています。

いつかはあり得る富士山噴火に伴う降灰そして停電の情報が示されました。南海トラフ地震に加えて災害列島のあり方が改めて思い知らされています。私達の役割である防災・安全への取り組みについて何が何でも強めていくことと思います。

政界はしばらくの間見守ることになりますが、「防災庁」の準備室があることには変わりません。担当部門との連携をますます強めたいですね。

### 2. 事務局報告(9月~)

#### ※アオ文字は国交省部会関係

9/4(木) 国交省都市整備局 無電柱化面整備WG

9/5(金) 国交省 R7-2 低コストWG

JMAさんと来年の無電柱化推進展の企画打ち合わせ

9/10(水) 国交省 R7-1 民間SWG

9/17(水) 国交省 R7-2 無電柱化推進技術検討会

9/18(木) 東京理事会・合同理事会(WEBのみ)

9/22(月) 第11回全国技術委員会 OSAKA

9/26(金) 沖縄活動委員会

10/1(水) 国交省 R7-2 無電柱化を推進するあり方検討委員会

10/16(木) 無電柱化街並み見学会 八王子市八王子みなみ野シティ

※理事会は街並み見学会のあとで、参加理事で実施。議事録は井上事務局長にお願いしたい。

10/25(土) 全国新聞社連合会プロポーザル無電柱化の日イベント(国交省)—お台場の予定—

11/8(土) すすめよう! 無電柱化! スペシャルトークショー — 大阪国道事務所の無電柱化イベント

11/4(火)~11/10(月) 北海道全道一斉パネル展

11/11(火) 「無電柱化の日」セミナー みち研分室  
寒地土研: 岩田様、大庭先生、森山顧問

11/13(木) 東京理事会、合同理事会(WEBのみ)

11/21(金) 首長会第3回勉強会(下関市生涯学習プラザ)

12/4(木) 東京理事会、合同理事会、東京活動委員会

3. 9/10 開催、R7-1 国交省民間SWG

日時: 2025年9月10日(水) 15:00~17:00

場所: 一般財団法人日本みち研究所分室

参加者: 会場: 6名、WEB: 10名

1) 低コスト製品の募集について—どう集めるか?—告知方法について

・既存の無電柱化商材だけでなく、無電柱化に側面的に関わる部材にも広げることを検討。

2) 国総研から依頼されている管路の要求性能に関して

・メーカーへの意見回収は9月末まで。その内容を踏まえて、10月半ばごろに第2回の民間SWGを開催予定。

3) T-25は必要か?の整理と提言のまとめ方

・9/17の無電柱化推進技術検討会では、井上事務局長より説明。今後も丁寧な説明をしていく。

・少し時間がかかるかもしれないが、狭隘道路の無電柱化を進めるためにも重要。

4) 側溝貫通の基準等整理

・無電柱化推進技術検討会では、側溝内配管(特に電線)で否定的な意見が多かったが、大阪の勉強会・民間SWGでは側溝貫通を提案している。なので、きちんと棲み分けができるようにしたい。



4. 9/22、第11回全国技術委員会 OSAKA

・「徹底検証 T-25 から T-8へは可能か」「台北市低コスト無電柱化の実際」で講演。

5. JMAさまとの来年開催の無電柱化推進展の企画打ち合わせについて

・12月4日の東京活動委員会で、JMAさんから具体的な案内・方針を説明していただく予定。

6. 10/16 開催、無電柱化街並み見学会について

7. 「無電柱化の日」イベントについて

・11/8(土)に大阪で無電柱化の日イベントをする予定。大阪国道事務所主催。大阪曾根崎地下遊歩道。1日2ステージ、各30分程度。井上事務局長が今年も登壇。

8. その他、留意事項

9. 次回の予定

10月の予定は、10/16の電柱化街並み見学会後。

11月は11/13(木)を予定(WEBのみ)。

## 🌟🌟 2025 今夏インターン生の企画紹介 🌟🌟

今年の8月より来ているインターン生が進めている企画を何件かご紹介させていただきます。



毎年インターン生がやっている「無電柱化（※電線・電柱を地下に埋設する取り組み）」の認知度調査（大学生対象）を今年も実施します！

何かと問題のある現代の日本で「無電柱化」なんて…と思う方もいるかもしれませんが、電柱をなくすことで得られるメリットをちゃんと知ることができれば電柱が多すぎることに對して問題意識を持ってくれる方が増えてくれると思います！

下のQRコードを読み込むことでアンケートのページに飛ぶことができます。数分で回答できるので、ぜひ協力していただきたいです！

お知り合いの大学生のかたがいたら是非ご協力を！



アンケート調査のQRコード



無電柱化された街並み（埼玉・川越）

「無電柱化」は社会インフラとして長年議論されてきたものの、実際にどれほど大学生のみなさんに知られているかはまだまだ分かっていません。今回、自分たちの目線で「今どれくらい情報が届いているのか」を把握し、分析レポートとしてまとめます。

9月1日に行われた井上事務局長の勉強会→

ご多忙のところ恐縮ですが、ぜひご協力をお願いいたします。

一人ひとりの回答が、無電柱化の未来を考える貴重なデータになります！

下記をクリックでホームページの内容を見て下さい。

[無電柱化知名度調査アンケート\(大学生向け\)](#)



今年の夏もインターン生が企画した無電柱化フォト&ムービーコンテストを企画し、開催いたします！11月10日に賞の発表をいたします。

応募お待ちしております。

日本では電柱・電線が当たり前存在していて、電柱・電線のない良い風景になかなか気づくことができません。

ただその中でも、防災を目的とした緊急輸送道路を中心に無電柱化を進めていますが、それ以外でも必要などころは無電柱化されています。

電柱・電線がないことに見慣れているヨーロッパとは違って「必要だから無電柱化されている場所」は、貴重なよい風景の場所が沢山あります！！

皆さんも一緒に無電柱化探しをしてみませんか？

下記をクリックでホームページの内容を見て下さい。

[第5回無電柱化フォト&ムービーコンテストの詳細](#)

## 🌟🌟 【2025 夏インターン生ブログ】 🌟🌟

各記事をクリックすると、内容が確認できます!!

[8/8 無電柱化についての考察](#)

[9/2 日本はなぜ無電柱化が進まないのか？#1](#)

[9/8 日本はなぜ無電柱化が進まないのか？#2](#)

[9/12 無電柱化と防災について](#)

[9/26 無電柱化と防災をサクッと解説](#)

[9/29 無電柱化と景観をサクッと解説](#)

[9/30 無電柱化の経済効果をサクッと解説](#)

分かりやすい!

読みやすい!



狭い道に電柱！？

インターン生 動画紹介

🚗 狭すぎる道路×電柱の罠 🚗

視聴数好評につき、ご紹介！

## 交通安全における電柱の現状

皆さん、こんにちは！

私は、今夏、NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワークでインターンをしている学生です。

この動画では、実際に車で走行した際に遭遇した「電柱が安全な通行を妨げている」状況を記録しています。

都市設計や無電柱化の課題について考えるきっかけになれば幸いです。

◆ 🎬 ユーチューブ動画の紹介 🚗 =

<https://www.youtube.com/watch?v=E10ofRi8tGo>

◆ NPO・HP でのユーチューブ動画の紹介記事 🚗 =

[https://nponpc.net/info/narrow-road-video\\_intern/](https://nponpc.net/info/narrow-road-video_intern/)

◆ この企画をしようとしたきっかけ 🚗 =

自動車教習の路上教習中、電柱にサイドミラーを接触させそうになり、指導員に補助ブレーキを踏まれた経験があります。また、私自身、深視力（奥行きに対する視覚能力）があまり高くないため、運転席から見た電柱との距離感や、ミラー越しの位置関係を正確に把握することが難しく、恐怖を感じたことが何度かありました。

こうした実体験から、電柱が交通安全に与える影響について関心を持つようになり、無電柱化の必要性を広く伝える企画に取り組みたいと考えました。

さらに、将来は自動車教習所の指導員になることを目指しており、交通安全の観点から社会に貢献できる活動に積極的に関わりたいという思いも、この企画を進める動機となりました。

◆ この企画で苦労した点 🚗 =

安全運転を最優先に企画を進める必要があったため、一定の運転技術が求められました。

また、通行する道路によって交通量に大きな差があり、映像の編集作業が複雑になる場面もありました。安全性と視認性の高い動画を制作するためには、対象の道路を何度も走行し、道順を覚えながら撮影の精度を高める必要がありました。そのため、準備や練習に時間を要し、体力的にも負担がかかる場面があり、少し苦労した部分もありました。

◆ その他無電柱化に対する考えなど 🚗 =

今回は交通安全の観点から無電柱化にアプローチしましたが、活動を進める中で、空一面に張り巡らされた電線の存在が非常に気になるようになりました。実際に道路を走行しながら撮影を行う中で、電柱や電線が運転に支障をきたすだけでなく、周囲の景観にも大きな影響を与えていることを改めて実感しました。

特に、住宅街や自然の多い地域では、空に広がる電線が視界を遮り、街並みの美しさを損ねているように感じました。こうした経験を通じて、無電柱化は交通安全の向上だけでなく、地域の景観保全や不動産価値の上昇など、たくさんのメリットを持つ重要な取り組みであると再認識することができました。



# 北海道における 無電柱化推進への理解促進に向けたNPOの取り組み

NPO法人 電線のない街づくり支援ネットワーク 北海道支部

伊東 里枝子 村山 一十四 安江 哲  
(理事・北海道支部長) (顧問)

## はじめに

NPO法人電線のない街づくり支援ネットワークは、無電柱化実現に求められる総合的な専門集団であり、無電柱化推進への応援団である。その技術力と使命感を生かして、日本の街を、無電柱化で安全・安心で美しい街にすることを目的に多様な活動を行っている。その中でも北海道支部においては、北海道特有の美しい自然景観や街並みの保全と共に、厳しい自然条件における防災力の強化を目指し、多くの関係機関と協力・連携し、無電柱化に関する多様な普及活動を行っている。以下、これまでの主な取り組みの内容と、取り組みを通じて得られた効果などについて紹介する。

## 無電柱化推進に向けた理解促進の取り組み

無電柱化の推進に向けては、NPO会員自らが主体的に実施していくことはもちろんだが、日本において硬直化している無電柱化への認識や誤解を変える必要があり、かつこれは根源的な課題である。北海道支部ではこのような課題を踏まえ、無電柱化による効果やこれを進める先進技術などについて、「知ってもらう」ことを目的に多くの取り組みを行ってきた。以下、取り組みの内容や効果について詳述する。

### ① ニセコ地域の景観を考えるシンポジウム「無電柱化と創る景観資源」

北海道の中でも先進的に景観まちづくりを進める倶知安町・ニセコ町において、景観、環境、交通、防災などの多くの有識者と地域住民が集うシンポジウムを開催した<sup>2)</sup>。有識者の方々からは、地域のランドマークである羊蹄山の価値、地域文化のブランド化、電線電柱のコントロールなど、住民の方々が普段当たり前に思っていることが実は当たり前でなく、多様な見方や考え方が示された。このシンポジウムを通じ、地域の観光資源を磨き上げる際に効果的なツールとなる無電柱化の重要性について、関係者・地域の方々との共有することが出来、特に現場職員の方々との共有が出来たことで、シンポジウム後のニセコ町無電柱化推進計画の策定に反映<sup>3)</sup>され、地域における無電柱化のキックオフに貢献出来たことは非常に意義があったと考えている。



### ② 無電柱化の日イベント札幌 地下歩行空間での一般市民への発信

11月10日の「無電柱化の日」には、令和3年度から毎年北海道開発局・北海道・札幌市が主催するパネル展が実施され、NPO北海道支部は、運営スタッフとしてだけでなく、展示企画の段階から参画している。当初からの目玉企画としては「わがまちの無電柱化」パネル展示で、これは北海道内において無電柱化が行われている50市町村の写真を一挙で紹介するものである。期間中多くの人が足を止め、ただ見てだけでなく、写真を見ながら会話が弾み、広く市民に知ってもらえる良い企画となったと考えている。また体験イベントとして、顧問である北海道大学 萩原先生の研究室の「VRで見る無電柱化」、会員である(株)ジオサーチの「ARで見る地下空間」、(国研)土木研究所と「無電柱化の街ミニチュア」を連携して展示を行っている。これらの展示は、多くの子供たちを楽しんでもらうことが出来、併せて親御さんなどへも発信することが出来た。



### ③ 小学校での出前授業「無電柱化を通して自分たちの住む街について考える」

令和4年度から、札幌市立伏見小学校5年生(令和5年度からは4年生)を対象として、寒地土木研究所と連携し行っている。これは、普段当たり前にある電線・電柱方式の課題と、無電柱化の効果について、子供達に意識を持ってもらい、即時的な親世代への波及や、将来の行動へのきっかけづくりを目的としている。授業はクイズを混ぜた座学と前述したミニチュアによる体験を組み合わせて、子供達の理解や関心を深めることが出来たと考えている<sup>4)</sup>。



### ④ トレンチャー改め「アーストレック」技術の普及

「トレンチャー」は掘削専用機械であり、細い溝を高速で掘削し地中埋設管路を収めていく、電線類地中化の新たなスピードアップ技術である。本技術は、これまで寒地土木研究所の試験施工などを通じ改良が進み、令和3年度には北海道七飯町の国道電線共同溝<sup>5)</sup>、令和5年度には道央道の通信管路工<sup>6)</sup>などで活用され、国土交通省「無電柱化のコスト削減の手引き」に紹介された。NPO会員である(株)長栄通建では全国でいち早く本機械を2台導入しており、新たに「アーストレック」として稼働させ、無電柱化の工期短縮、安全施工、低コストに貢献する<sup>7)</sup>。また併せて、国の勉強会への講師派遣や、電線事業者等への技術支援など、技術の普及に向けた活動を継続して行っており、無電柱化に取り組む事業者の拡大にも貢献する。



## まとめ・今後に向けて

NPO北海道支部は、無電柱化に取り組む多くの関係者や事業者と連携・協力し、ひとつひとつ事業を行ってきた。またこのような活動を通じ、中立的な立場から多様な関係者をつなぎ、無電柱化という共通の目標に向かって物事を進めるNPOとしての役割も明確化してきていると感じている。今後活動を継続すること、また活動の幅を広げ関係者を拡大していくことで、北海道における無電柱化の推進に貢献したいと考えている。

参考文献

- 1) NPO法人電線のない街づくり支援ネットワークホームページ: <https://nponpc.net/>, 2025.3.31入手
- 2) ニセコ地域の景観を考えるシンポジウム実行委員会: 無電柱化と創る景観資源〜働き・活かし・繋げる 世界に誇れる景観資源〜 Symposium Report, 2022.9.30
- 3) 北海道ニセコ町: ニセコ町無電柱化推進計画, p9, 2023.2.1
- 4) 大野・岩田・伊東: ミニチュア模型を活用した無電柱化山前授業の取り組みについて, 第35回日本道路会議, 2023.11
- 5) 芳賀・山田・石田: 郊外部における効率的な無電柱化に向けた取組について, 第65回北海道開発技術研究発表会, 2022.2
- 6) 永長・大野・藤原: 道央自動車道通信管路敷設工事でトレンチャーの活用, 第67回北海道開発技術研究発表会, 2024.2
- 7) 株式会社長栄通建ホームページ: <https://www.choueji.com/>, 2025.3.31入手

私たち北海道支部は、令和7年9月8日（月）～12日（金）に開催された、令和7年度土木学会全国大会 in Kumamotoにて、「北海道における無電柱化推進への理解促進に向けたNPOの取り組み」をテーマにポスター発表をさせていただきました。

#### 令和7年度土木学会全国大会 in Kumamoto

場所:熊本城ホール(特別講演会・全体討論会・年次学術講演会・交流会)、熊本大学黒髪キャンパス(年次学術講演会)  
期間:令和7(2025)年9月8日(月)～12日(金)  
テーマ:気候変動時代の土木イノベーション～カーボンニュートラルとレジリエンスで創る持続可能な社会～

NPO法人 電線のない街づくり支援ネットワークは、日本の街を無電柱化で安全・安心な美しい街にすることを目的に全国各地で多様な活動を行っておりますが、その中でも北海道支部においては、北海道特有の美しい自然景観や街並みの保全と共に、厳しい自然条件における防災力の強化を目指し、多くの関係機関と連携・協力し、様々なターゲット層に向けた普及活動を行っております。今回のポスターは、この「知ってもらう」を目的とした活動を中心にとりまとめている。



#### ◆ポスターにある各項目の説明◆

【ポスター①】令和4年9月に倶知安町・ニセコ町にて開催した、「ニセコ地域の景観を考えるシンポジウム『無電柱化と創る景観資源』」では、景観、環境、交通、防災などの多くの有識者と地域住民が集い、地域の観光資源を磨き上げる際に効果的なツールとなる無電柱化の重要性について、関係者や役場職員の方々を含めた地域の方々と共有することが出来ました。

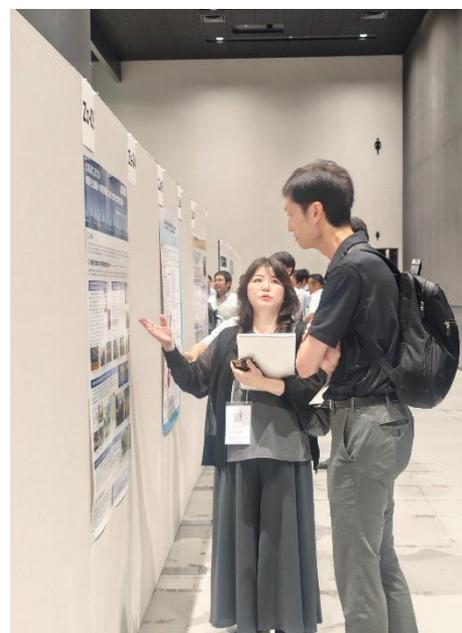
【ポスター②】毎年11月10日の「無電柱化の日」に札幌市の地下歩行空間にて開催されている、北海道開発局・北海道・札幌市が主催するパネル展には企画の段階から参画しており、会場を訪れる多くの市民や観光客の方に、無電柱化が行われている北海道内50市町村の写真などを見ていただくほか、様々な体験イベントを通して無電柱化へ興味・関心を持っていただくきっかけへとつなげております。

【ポスター③】令和4年度から札幌市の小学校にて「無電柱化を通して自分たちの住む街について考える」をテーマに、寒地土木研究所と連携し行っている「無電柱化出前授業」は、次世代を担う子ども達の理解・関心を深めると共に、親世代への波及へとつながる活動になっていると感じています。

【ポスター④】この他に、全国でいち早くチェーン式トレンチャー掘削機を2台導入し、効率的な施工実績とデータを蓄積し、寒冷地・郊外部での低コスト・短工期施工を可能にした株式会社長栄通建の「アーストレック工法」についても記載いたしました。

来場者の皆さまとは活動内容に関するお話のほか、私たち北海道支部が令和8年に開催を予定している、「無電柱化北海道フォーラム」の紹介などもさせていただくことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

私たち北海道支部は、今後も北海道における無電柱化の推進に貢献するべく、活動を継続し、活動の幅を広げ、関係者を拡大してまいります。



2025 年 9 月 22 日の第 11 回全国技術委員会 OSAKA において、当 NPO の井上事務局長が「台北市電線地中化状況」というタイトルで話題提供致しました。今回は、2025 年 7 月に自社研修旅行で台湾・台北市に行った際の台北市道路情報管理センター視察の様子と、そこであがった台湾の無電柱化事情について紹介させていただきます。（現地通訳・ご協力：陳昭志氏）



## 1. 最先端かつウェルカムなお出迎えにビックリ！

台北市道路情報管理センターでは、職員の皆さんが、私達を大変歓迎していただいた。更に「何でも聞いて下さい、気になる設備があったら何でも見て帰して下さい。」と情報公開に関してもオープンにご提供いただいた。早速、台北市の無電柱化についてミーティングを設けていただきましたが、せっかくだからと台湾電力のかたも同席していただきました（下の写真）。



台北市道路情報管理センターとのミーティングの様子

実は、ここの情報管理センターは、電力会社・ガス会社・下水道施設など、地下インフラの会社も常駐しており、なにか問題が起こったときにすぐ対応できるように、情報を共有できるようにしている。下の写真にあるように施工現場の状況は巨大なモニターに映し出されている。



台北市道路情報管理センターの内部



## 2. 台北市電線地中化政策

### 政策目標は

- ・都市の街並みをきれいに、都市の美観と道路の視界を向上
- ・台風時の架空線損傷や停電リスク軽減、電力安定供給強化
- ・生活環境全体の質向上、より安全で住みよい都市空間創出

### 実行

93%無電柱化完了

2017年

2022年

2023年

- ・ 電力改善事例検討
- ・ プロジェクト推進幅員15m以上の道路架空線地中化

- ・ 幅員15m以上の道路電力・通信線の地中化 **85%**

- ・ 電力改善事例検討
- ・ 全市電線地中化に向け継続的に努力



**費用負担は** 歩道の無電柱化は電力会社が100%負担。電力会社は台湾電力で国営。景観の場合は、市が50%、電力50%の負担。通信ケーブルに関しては、その会社が全額負担している。1~1.5億円/km。地中線は架空線の6~8倍の費用がかかる。

**工事期間は** 規模にもよるが、短いと3か月（ピンポイントの地下化の場合）。長い場合は2~3年かかる。

## 3. 台北市電線地中化政策による改善成果

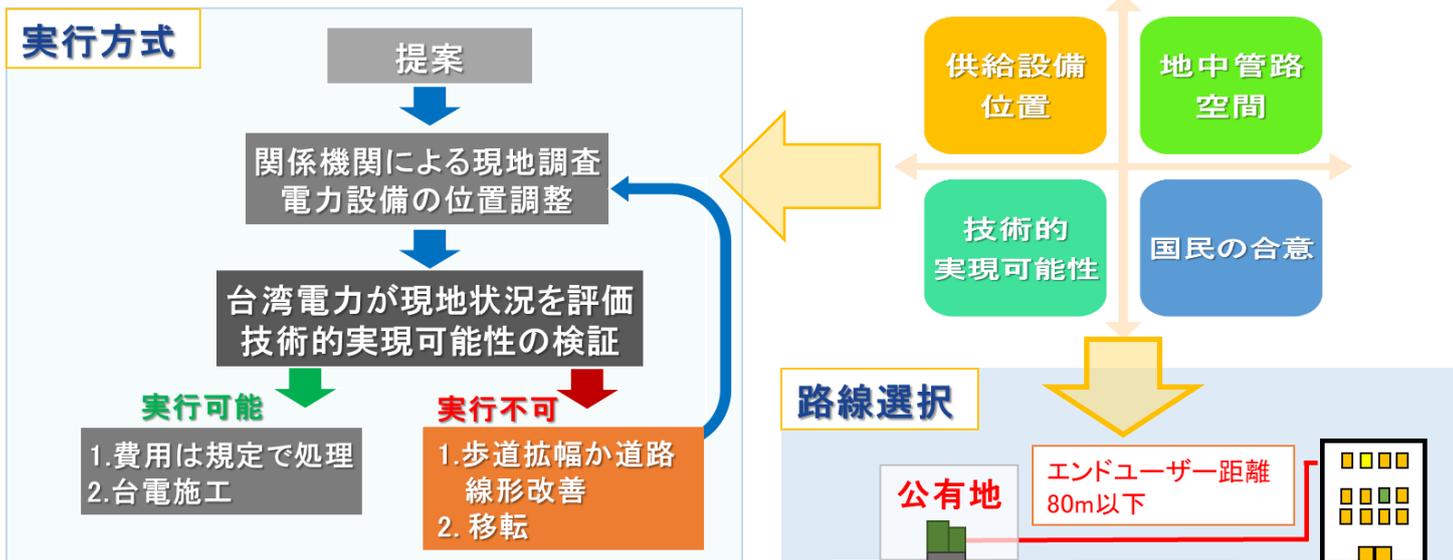
台北市はほぼ無電柱化されているが、所々で残っている箇所を無電柱化していくことが主になっている。



## 4. 台北市電線地中化 計画設計-実現可能性評価と電力供給設置様式

変圧器を置く場所は歩行者の邪魔にならないような場所、歩道の端、公園に置いたりしている。公共施設の中に置く。





電力供給設置様式

地上設置型



地下埋設型



- 放熱不良
- 設備浸水
- 蚊虫や異臭
- メンテ困難
- 安全性への懸念
- 地震・洪水の危険性
- 設置・維持コスト高

箱型地上設置型



電柱設置型



5. 台北市電線地中化 施工方法、施工上の障害と対策

推進工法

使用頻度 低



コスト高 高度な技術が必要

大同区隆和里 延平北路3丁目

障害：施設配管の重複配置不良  
対策：関係配管部門間の調整による移設と再配置

直接開削施工

多用途



比較的低コスト  
限られた地下スペース

文山区辛亥路 4丁目 101巷

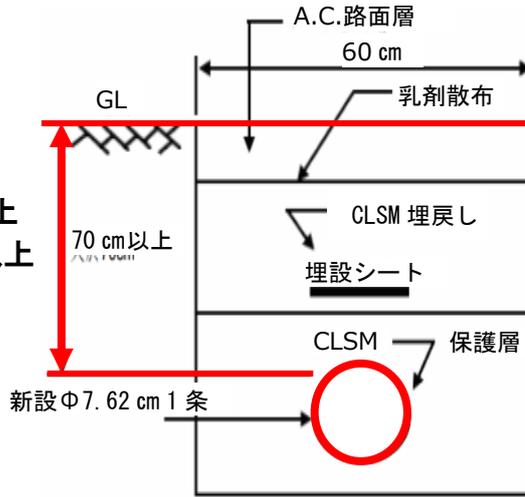
障害：既設埋設物と干渉  
対策：現状を踏まえて干渉回避

6. 台北市電線地中化 施工規定-道路掘削

埋設深度

距面からの垂直深度：

- ・ 歩道：50 cm 以上
- ・ 道路幅 8m 以下：70 cm 以上
- ・ 道路幅 8m 以上：120 cm 以上



台北市の掘削溝埋戻しは、「台北市道路掘削工事及び維持管理条例」第 19 条第 1 項において、管理型低強度埋戻し材 (CLSM) の使用を規定。台北市建設仕様書 03377「管理型低強度埋戻し材」によると、CLSM は流動性が高く、管路の隙間を自己充填するため、打設後の締固めは不要。落下強度試験の代替手段として(体重 60kg 以上の人が溝内に 5 分間立ち、目に見える沈下兆候がないことを確認する試験で、工事技師の承認が必要)を実施し、その後の作業の可否を判断できる。

施工通知と時間

承認番号	施工区間	施工時間	監督	施工会社	作業員	駐在員	施工通知 (h)
114002236-3 台湾建築經理股份有限公司	和平西路2段 (明挖)	日中の施工は9時30分から16時まで	黃雅婷 15:25	佳河環境工程有限公司	黃弘旭 15:27		09:33
114001725-1 自來水陽明	陽明路1段 (明挖)	渋滞しやすい区間 日中工事9時から17時まで	張修明 16:54	宇力工程有限公司	王志? 16:54	黃仲璋	09:07

承認施工時間：09:30-16:00

工事をしている現場写真をデータに残して、サーバーにアップしたり、ライブで見れるようにしたりして管理している。紙の写真は不要。デジタルのみ。違反をすると罰金が科せられる。

APP 通知機能を選択して下さい

- 掘削工事通知
- 管理障害通知
- 時間超過報告
- 復旧工事通知
- 応急修理工事通知
- 「道路維持工事通知」
- 工事復旧通知
- 人孔・HH 工事通知
- 変更請求
- 工事写真 UP ロード
- 障害対応通知
- 作業終了報告